



県民の安心感に関するアンケート調査結果（令和2年）

1 趣旨

「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動に係る第4期アクション・プラン（計画期間：H28～R2）の運動目標の達成に向けた取組の方向性を確認するとともに、県民の「安心」の向上に資する警察活動を推進するため、県民を対象に、体感治安に関するアンケート調査を実施し、その結果についての集計を行った。

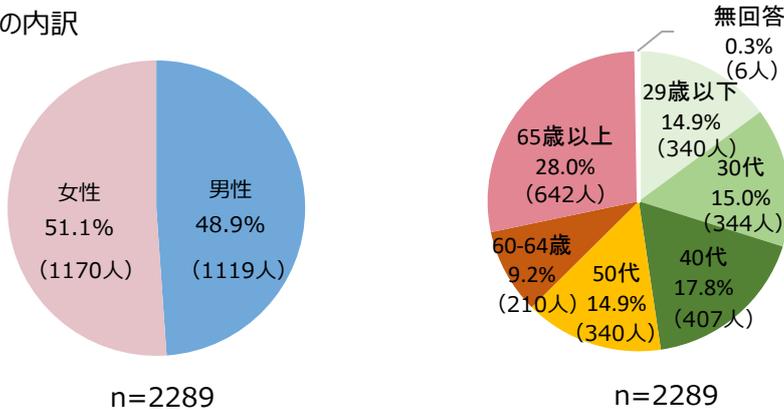
【把握すべき事項】

- ① 体感治安の現状
- ② 体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪
- ③ インターネットの利用で不安に感じること
- ④ 警察の取組に関する認知度
- ⑤ 防犯行動に影響を及ぼす犯罪情報の喚起形態
- ⑥ 体感治安に影響を与えるその他の要因

2 調査方法

- 実施期間：令和2年8月21日～9月1日
- 調査方法：交番・駐在所等に勤務する警察官が受持区域の住宅等を戸別訪問するなどして実施。
- 有効回答数：2,289人（無効回答：22人（内）性別無回答：15人／回答数不足：7人）

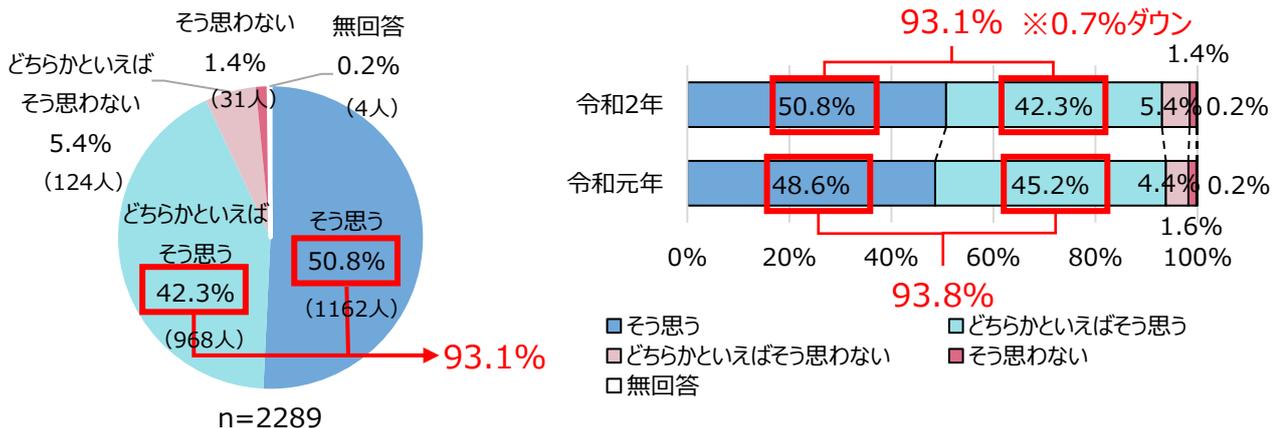
性別・年齢の内訳



3 調査結果

① 体感治安の現状

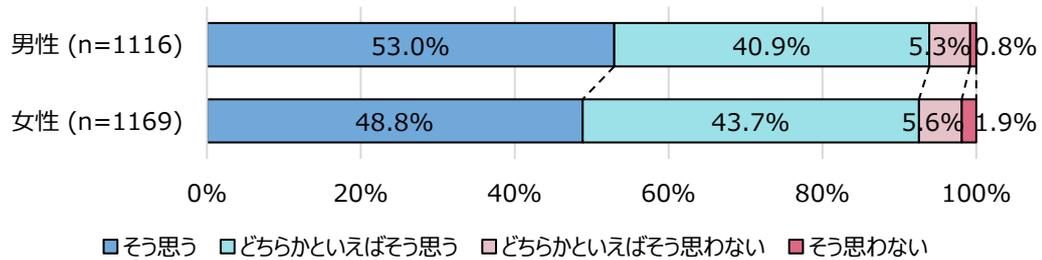
問 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。



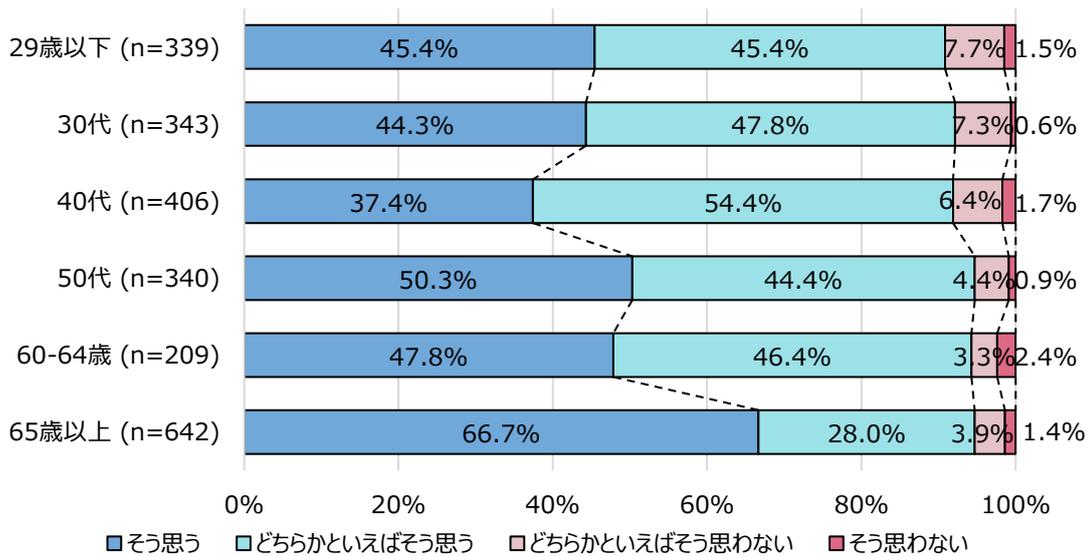
属性別の体感治安

現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。(以下同じ)

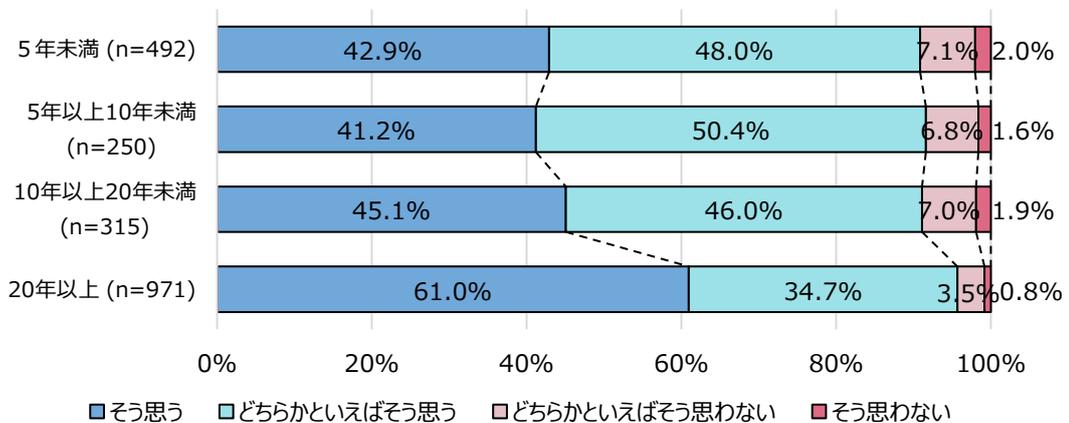
男女別 (n=2285 無回答4人を除く)



年齢別 (n=2279 無回答10人を除く)



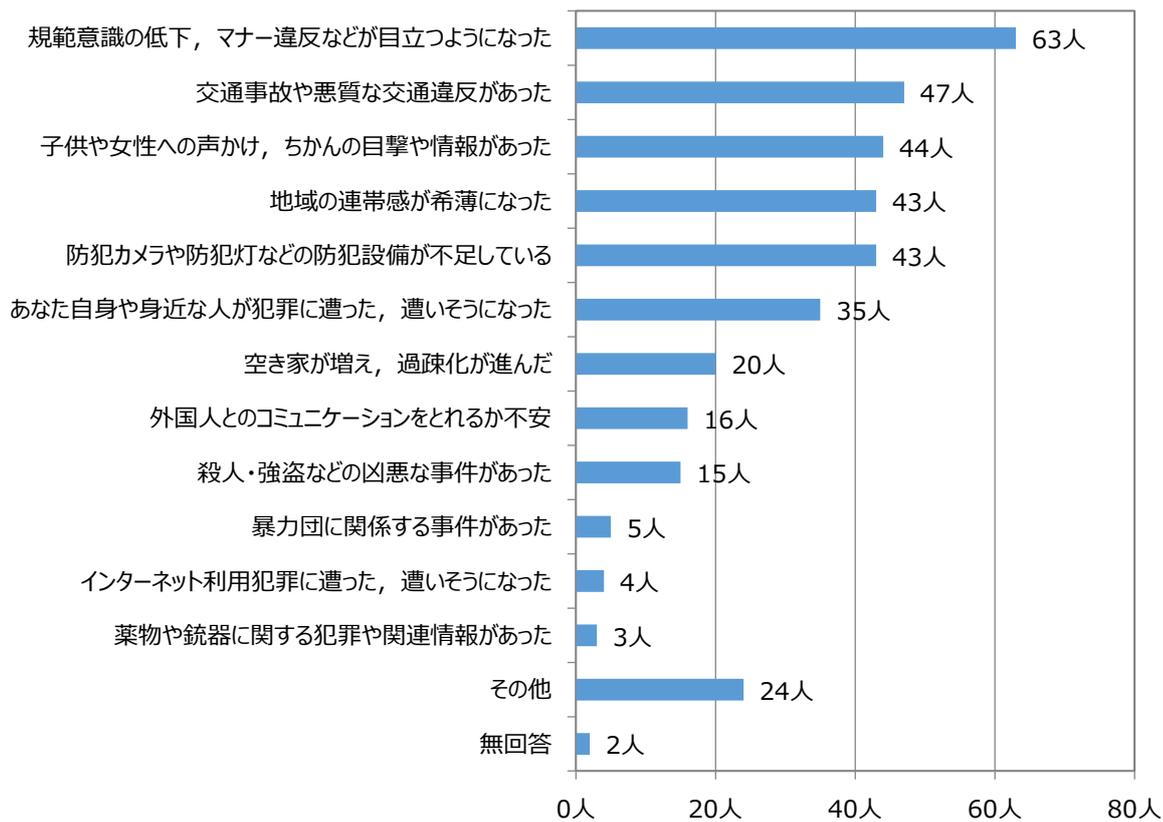
居住年数別 (n=2028 無回答261人を除く)



- 男女別では、治安良好※と回答した女性は男性と比べて1.4ポイント低い。
- 年齢別では、年代が高い方が体感治安が良好と感じる割合が高く、29歳以下が最も低い。
- 居住年数別では、20年以上で「そう思う」と回答する人の割合が高くなっている。

※治安良好 = 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

治安良好と思わないと回答した理由 (n=155)

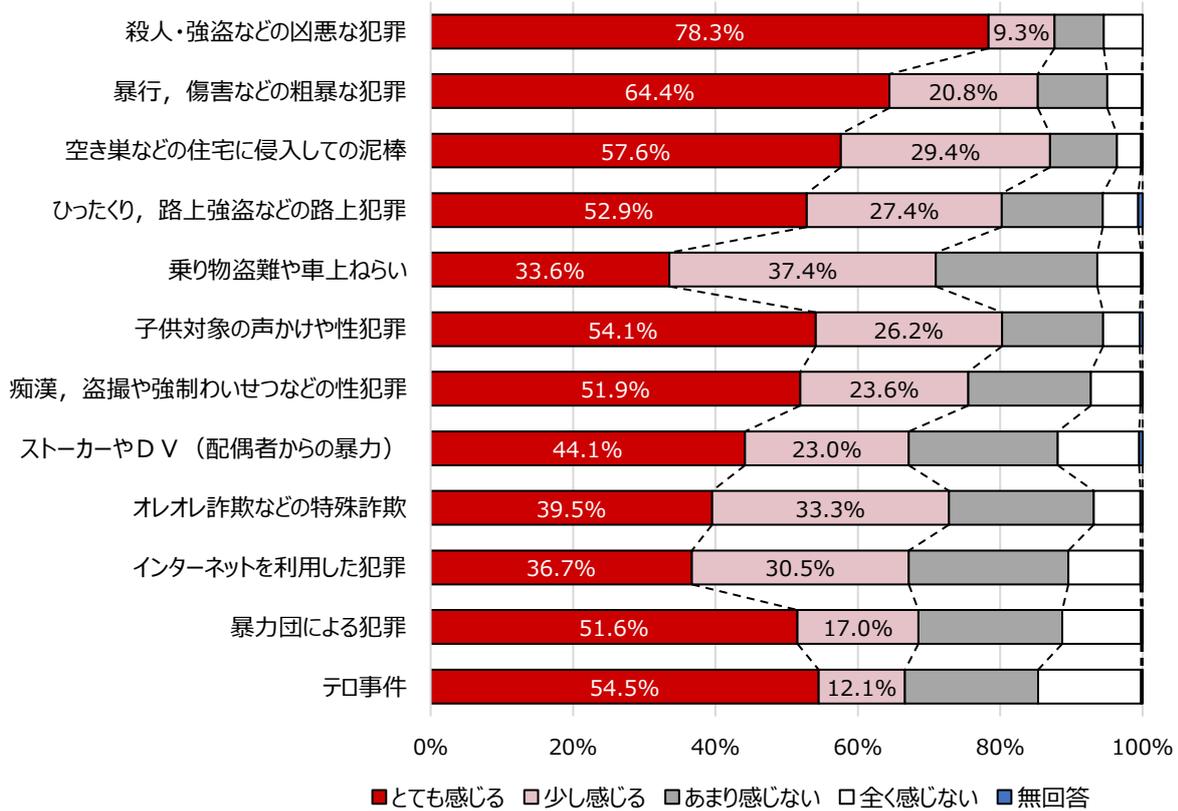


その他の回答 (自由回答で得た回答を分類したもの)

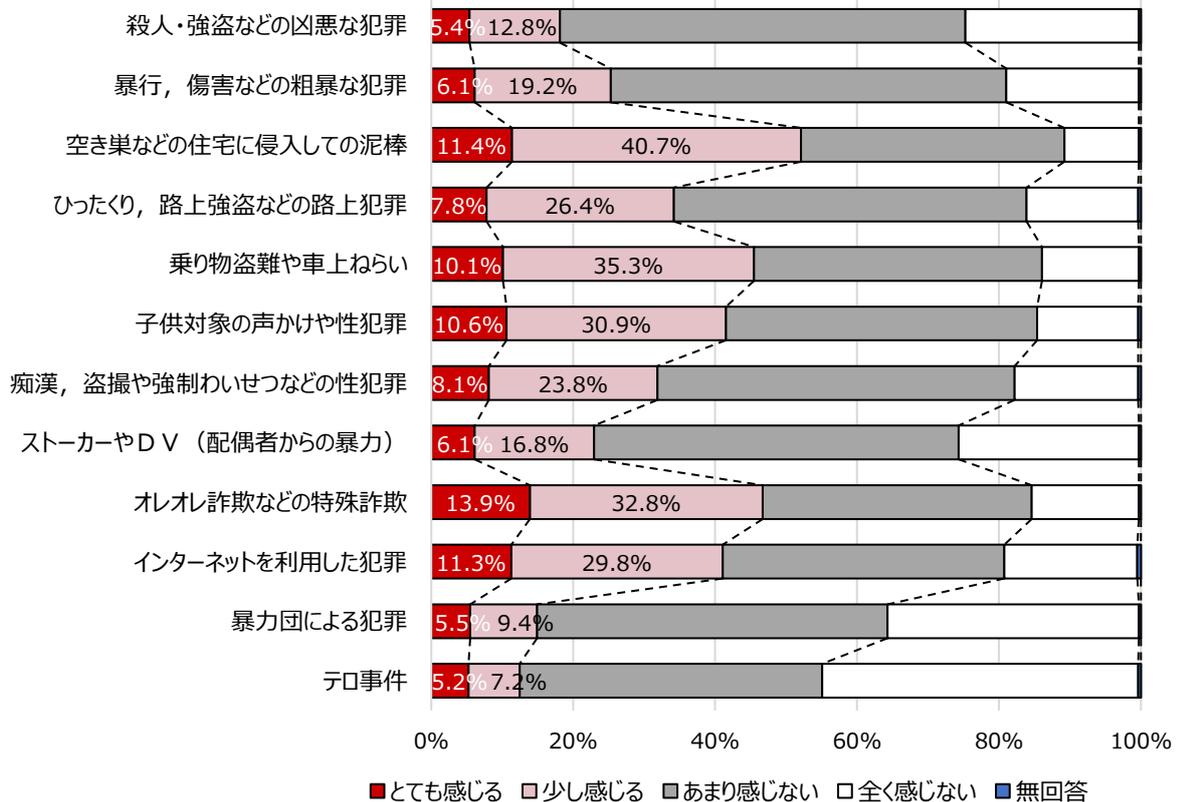
不審者 (情報) が増えた	7人
人のモラルが低下した (交通違反・マナー違反・迷惑行為が増えた)	5人
道路が狭い, 街灯が少ない	3人
本人や身近な人が犯罪被害に遭った, 遭いそうになった (架空請求等)	3人
来日・在日外国人が増えた	1人
その他	3人
無回答	2人

②体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪

問 あなたは、次の各々の犯罪に対して、どの程度「怖い」と感じますか。【犯罪脅威度】



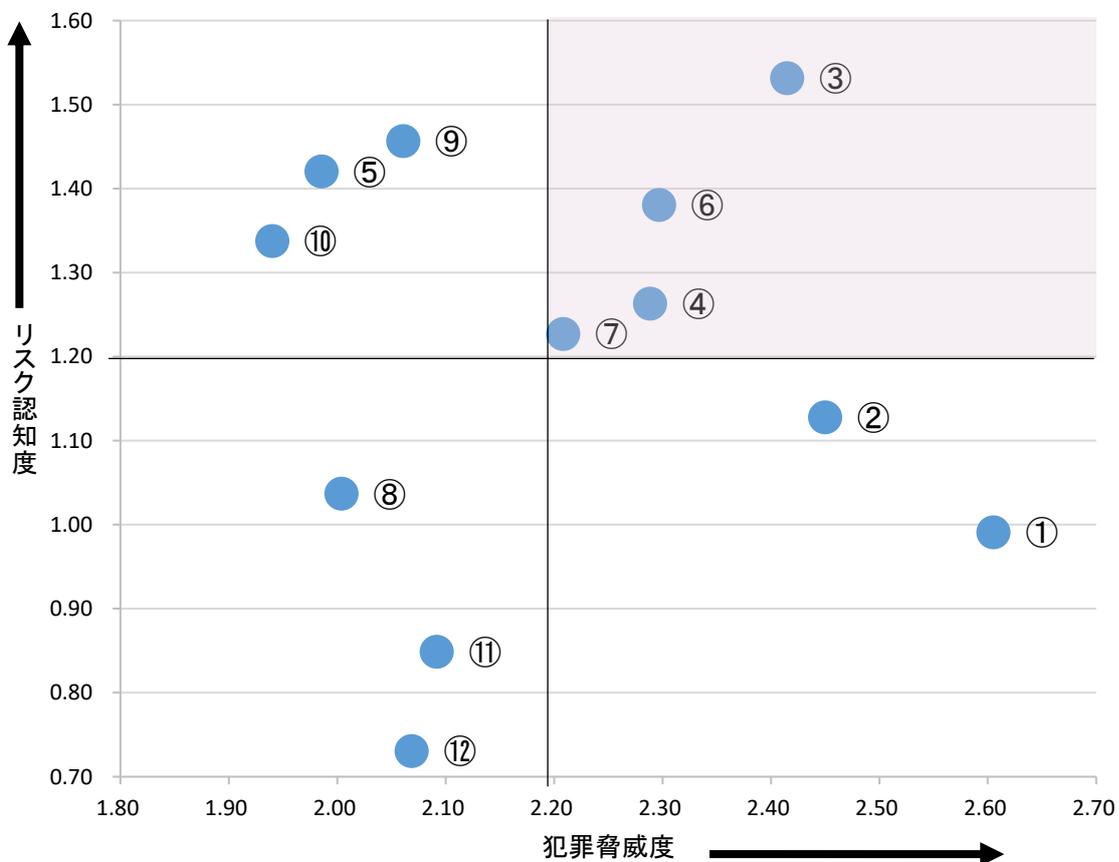
問 あなたは、お住まいの地域で、次の各々の犯罪に対して「自分や身近な人が被害にあう可能性」をどの程度感じますか。【リスク認知度】



犯罪脅威度×リスク認知度

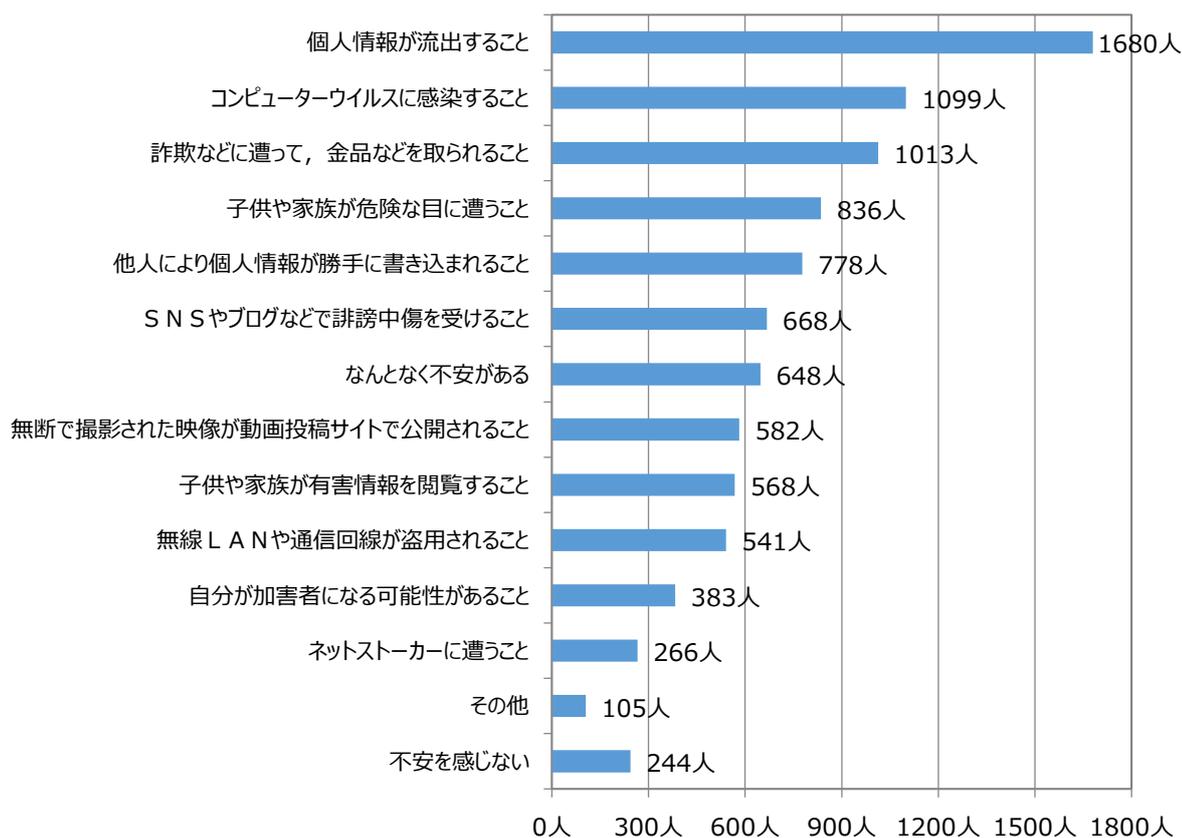
	犯罪脅威度	リスク認知度
①殺人・強盗などの凶悪な犯罪	2.61	0.99
②暴行，傷害などの粗暴な犯罪	2.45	1.13
③空き巣などの住宅に侵入しての泥棒	2.42	1.53
④ひったくり，路上強盗などの路上犯罪	2.29	1.26
⑤乗り物（自動車，オートバイ，自転車）盗難や車上ねらい	1.99	1.42
⑥子供対象の声かけや性犯罪	2.30	1.38
⑦痴漢，盗撮や強制わいせつなどの性犯罪	2.21	1.23
⑧ストーカーやDV（配偶者からの暴力）	2.00	1.04
⑨オレオレ詐欺などの特殊詐欺	2.06	1.46
⑩インターネットを利用した犯罪	1.94	1.34
⑪暴力団による犯罪	2.09	0.85
⑫テロ事件	2.07	0.73

※ 犯罪脅威度・リスク認知度とも、「あまり感じない」= 1 点、「少し感じる」= 2 点、「とても感じる」= 3 点として算出した加重平均値。



- 身近な犯罪（侵入窃盗，路上犯罪など）や子供・女性を狙った犯罪などが，犯罪脅威度（犯罪そのものの怖さの程度）とリスク認知度（被害に遭う可能性を感じる程度）がともに高い。
- 一方で，①殺人・強盗などの凶悪犯罪の脅威度は高いがリスク認知度が低く，逆に⑩インターネット犯罪はリスクの認知はされているが，脅威度は低いと感じられている。

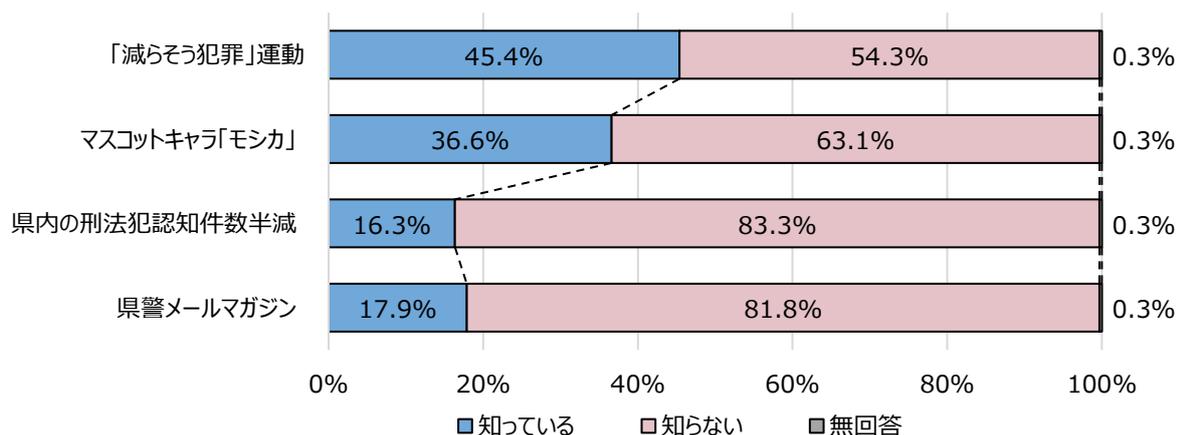
③インターネットを利用することで不安に感じること (n=2233)



その他の回答（自由回答で得た回答を分類したもの）

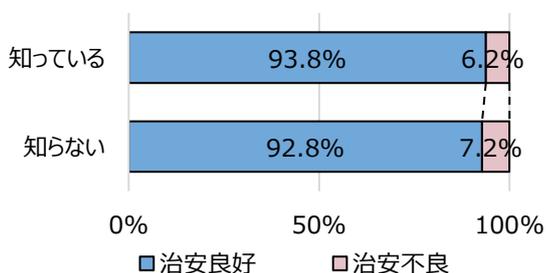
アカウント乗っ取り	2人
使用方法自体が誤っているのではないかと不安	2人
フィッシング詐欺	1人
インターネットバンキングやカード決済で資産が無くならないか	1人
ネット通販で粗悪品を送られるかも知れない（口コミ情報をみてやめた）	1人
知らない電話番号やメールアドレスからのメール	1人
位置情報で知られること	1人
どこで自分が映っているか分からない	1人
ウェブカメラが勝手に起動して顔を撮られる	1人
利用していない	88人
その他	2人
無回答	4人

④警察の取組に関する認知度 (n=2289)

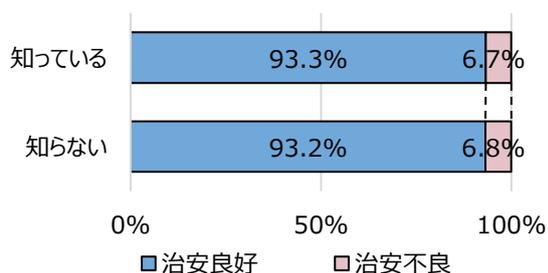


認知度と体感治安の関係性

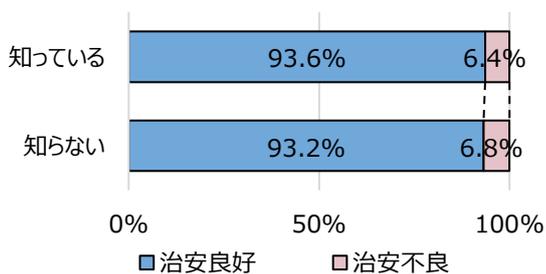
「減らそう犯罪」運動



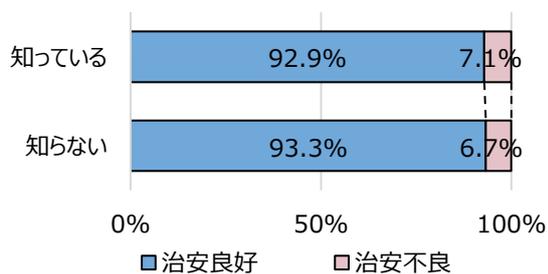
マスコットキャラ「モシカ」



県内の刑法犯認知件数半減

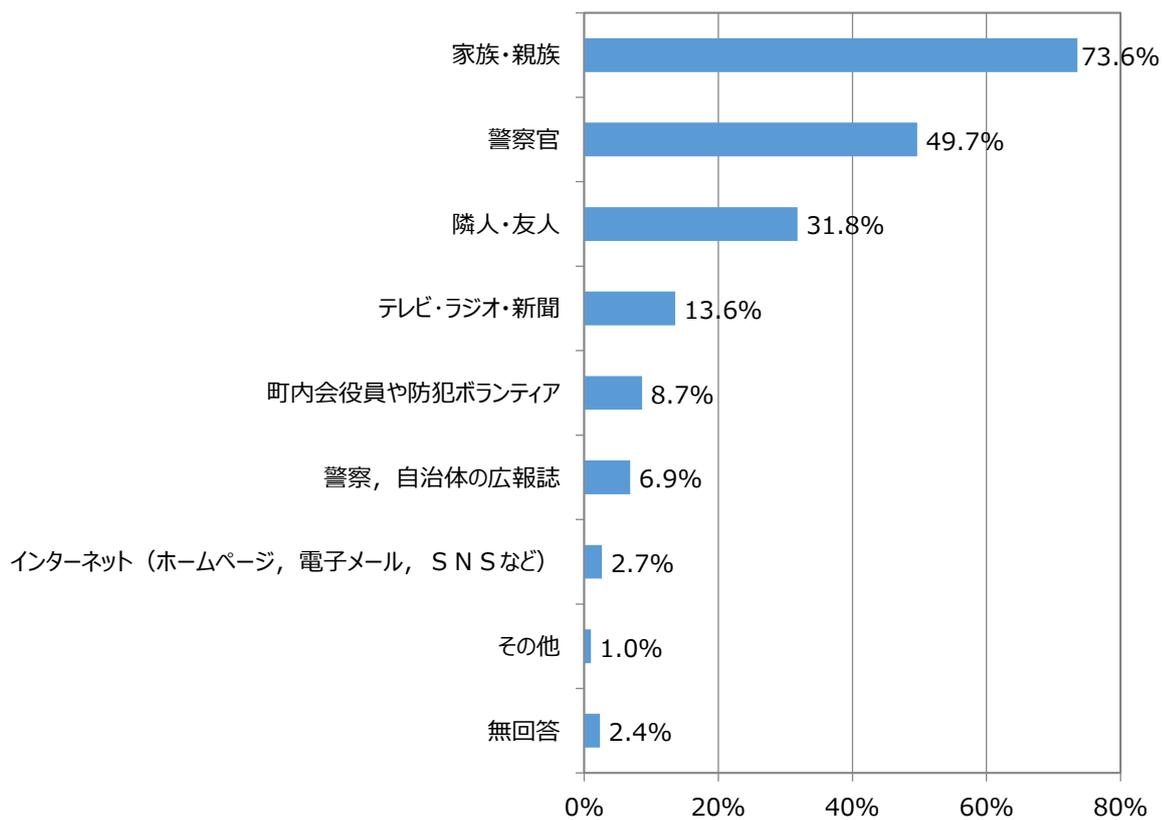


県警メールマガジン



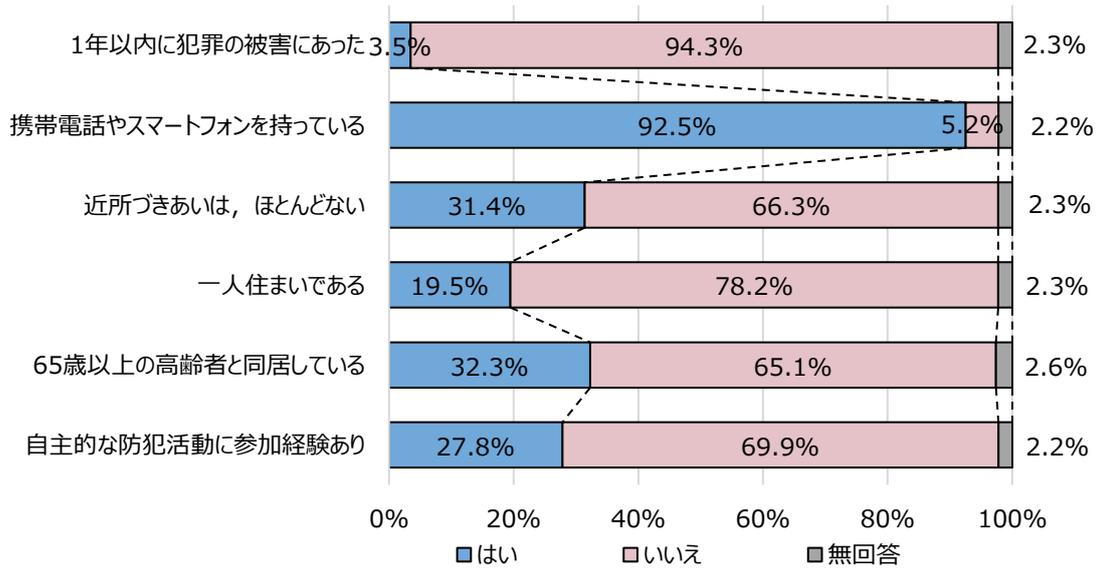
● 「減らそう犯罪」運動の認知度が最も高く45.4%、「県警メールマガジン（17.9%）」と「県内の刑法犯認知件数半減（17.9%）」は認知度が低い。

⑤ 防犯行動に影響を及ぼす犯罪情報の喚起形態 (n=2289)



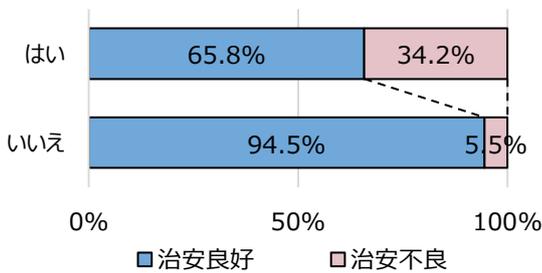
- 約 4 人に 3 人が「家族・親族」の注意喚起に応じて防犯行動をとると回答している。
- また、約 2 人に 1 人が「警察官」による注意喚起で、約 3 人に 1 人が「隣人・友人」の注意喚起で防犯行動を起こすとしている。

⑥ 体感治安に影響を与えるその他の要因

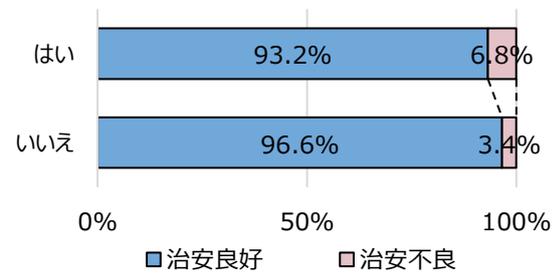


体感治安に影響を与える要因と体感治安の関係性

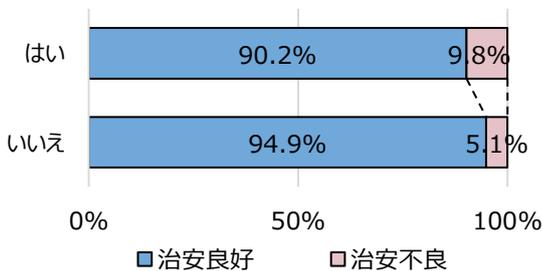
1年以内に犯罪の被害にあった



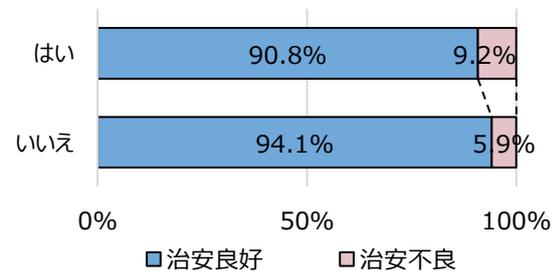
携帯電話やスマートフォンを持っている



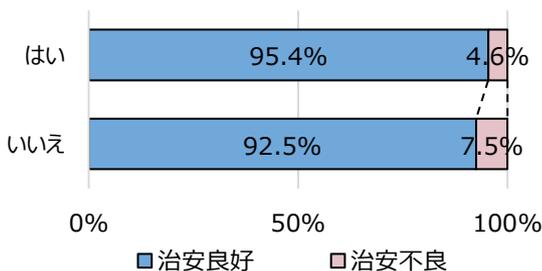
近所づきあいは、ほとんどない



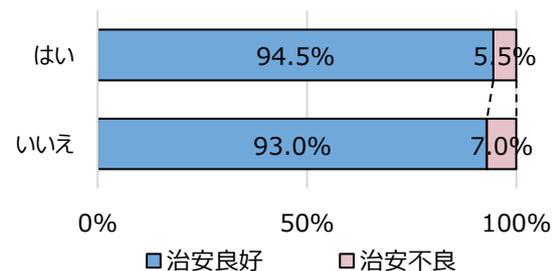
一人住まいである



65歳以上の高齢者と同居している



自主的な防犯活動に参加経験あり



●「1年以内に犯罪の被害にあった」「近所づきあいはほとんどない」が体感治安に与える影響が大きい。